

2025 年 11 月 7 日
東日本旅客鉄道株式会社

信号システムの条件設定に関する調査状況について

2025 年 10 月 5 日に東急田園都市線梶が谷駅構内で発生した信号システムの条件設定不備による列車衝突事故を受け、国土交通省から同種箇所の調査指示がありました。当社における調査内容と現時点の経過についてお知らせします。

1 調査概要

列車が分岐器付近の予期しない箇所で停車した際、接触する可能性のある列車に停止信号を出すよう信号システムの条件設定等を行っています。（別紙 1）

本調査では、設定図面の確認と現地設備の確認により、信号システムの条件設定に誤りがないことを確認します。

対象箇所：899 駅※（在来線 865 駅、新幹線 34 駅）

※信号場、車両センター等を含み、営業列車に影響のない範囲を除く

2 調査経過

2025 年 10 月末までに対象箇所全駅の設定図面について確認を完了、現地設備の確認に着手しており、上越線水上駅、および高崎線熊谷駅の計 2 箇所で信号システムの条件設定に不備があることを確認しました。（別紙 2）

当該箇所については、該当する進路を使用しない措置を講じており、列車運行の安全に支障はありません。また、運行計画にも影響はありません。

なお、新幹線 34 駅については設定図面の確認に加え、現地設備の確認も完了し、設定に誤りがないことを確認しました。

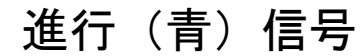
3 国土交通省への報告内容

第 2 項の調査経過について国土交通省へ報告しています。また、羽越本線新発田駅では、2015 年より一部条件設定がない箇所において、車両の位置を確認してから車両を走行させる取扱いを定めており、安全を担保していることを併せて報告しました。

4 今後について

在来線 865 駅において、現地設備の確認は 2026 年度上半期までに実施予定です。同様の箇所を確認した場合は、速やかに措置を講じます。

停車すると接触の可能性
のある箇所



停車すると接触の可能性
のある箇所



